

地域委員会について

質問

最後に地域委員会について伺いたいと思います。

そもそものね、地域委員会を設置する理由、現在の住民自治推進における課題及びそれが自治会では解決できない理由、地域委員会でそれを解決する方策、地域委員会に関する今後のスケジュール、モデル実施をした際に求める成果、所管が想定している地域委員会が提案するであろう予算内容について、お答えください。

中江理晶まち産業活性部長

近年、急速に進む情報化や少子高齢化などに伴い、住民ニーズが複雑かつ多様化し、これまでの全地域一律の行政サービスでは、異なる地域課題に十分応えられなくなっていることから、新しい住民自治の仕組みとして、地域の実情をよく知る多様な主体が参画する(仮称)地域委員会を設置する必要があると考えたものでございます。

現在、住民自治推進における課題及びそれが自治会では解決できないと考える理由でございますが、地域諸団体が抱える大きな課題として、高齢化等による人材不足があり、現在、地域運営の中心的役割を担っている自治会におきましても同様の状況が見られ、また自治会加入率が年々低下していることを勘案すれば、今後、地域コミュニティが弱体化することを懸念しているところでございます。

(仮称)地域委員会でそれらの課題を解決する方策でございますが、モデル実施におきましては、構成要件として、多くの住民が参画している自治会、地区福祉委員会、青少年対策委員会、体育振興協議会を必須構成団体とし、その他地域で活動する団体及び団体に所属できない個人についても可能な限り参画いただくことで、地域の諸団体や住民相互のつながりの強化と地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

今後のスケジュールにつきましては、平成27年度(2015年度)にモデル地域を募集、決定し、平成28年度(2016年度)から事業を実施し、十分な検証期間を設けることにより、新しい地域自治の仕組みの構築につなげてまいります。

モデル実施で求める成果でございますが、(仮称)地域委員会が事業の立案の段階から、地域に情報を公開し、一人でも多くの地域住民の参画のもと、協力しながら地域課題の解決に向けた事業提案、もしくは事業実施と評価を行っていただきたいと考えております。

想定される(仮称)地域委員会の提案予算内容でございますが、モデル地域数、一地域当たりの予算額、対象とする事業等につきましては未定でございますが、今後、第2期研究会及びフォーラムや、地域との懇談会などの開催を通して、幅広く市民の皆様のお意見もお聞きしながら、検討・推進会議で検討してまいります。

以上でございます。

質問

この政策が遂行される唯一の理由というのが市長の政策だからってということだと私は思っております。何かしらのニーズがあったのではなくて、市長が政策として公約で掲げたから、実際に動いてるんだと思うんですけども、当初市長が掲げられた際には、選挙により地域委員会の委員を選ぶというものでした。理由は代表制の担保ということをおっしゃってました。私はそれに反対しておったんですけども、そこで市長に伺いたいんです。

そもそも、この政策を掲げた理由、そして委員会のあり方については、市長の構想とは大きく今異なってきています。それでもこの政策を推進する理由、そして、市長が思う地域委員会の理想像、そして、具体的にどのような予算が上がってくると想定しているのか。この地域委員会という政策そのもののビジョンについて、もう一度御説明いただきますようお願いいたします。

井上哲也市長

地域委員会の御質問、お答え申し上げます。

私は地域のことは地域で決めるっていうのがまず基本でございまして、地域主権というのは国から都道府県、都道府県から市、それぞれの権限移譲があります。そして、それぞれが市民に近いところで政策決定するっていうことが根本ではありますけども、さらに私は地域主権という意味ではやっぱり地域までおろしていきたいというのがもとの考え方です。

それで、もともと選挙をという話をさせていただいてたんですが、これは地域委員会の研究会で、先ほども御質問ありました、2年間御議論していただきまして、そこでは選挙はふさわしくないという結論を出していただいております。そこは尊重するかしないかは、これからの話ですけども、これ、モデル地区を実施することの中でどんな形がええかということは、それはまた検討をさせていただきたいと思っております。

あと、予算の中身については、実は、今36万市民で、吹田市役所、今議員の皆さん方と政策を決めさせていただいて、予算を決めさせていただく、これはこれで一つのやり方としてはあり得ることなんですけども、やっぱり地域っていうのはそれぞれ、例えば高齢者の多い地域もありますし、子供さんが多い地域もあります。やっぱりそこはそこだけの特色のある政策をしてもいいんじゃないかなと、こう思っています、それはその地域でどんな、これは予算がいいのか、交付金がいいのか、また、これも議論あるところでございますけども、そういったことを決めていただいているんじゃないかなというのが私の考え方です。

質問

地域のことは地域で決めるっていうのはすごくいいことだと思うんですけども、それ

が既存の自治会ではできないと。なぜできないかっていうと、担ってる方が高齢化してきてると、そして、若い世代も入ってきてないというような現状があって、加入率が減っているということが挙げられました。

それを変えるようなことをするために何をすべきかっていうのをもう一度考えていただいたらいいのではないかなと。自治会に行っても、私のような世代というのはなかなかいないもんでございますから、そういうような課題、どういうふうに解決していくのかというのを考えていただければと思います。

以上で私の質問を終わります。